

みなしご通信



福山「ニホンザル皆殺し」計画

今私はニホンザルを一網打尽にして皆殺しにする！と中国新聞の記事に載っていた広島県福山市の農林水産課のサル担当者と戦っています。私は2016年からこの【10年間】ずっとずっと福山市の動物愛護センターに収容され殺処分対象となつた猫全頭の引き出しをしとる！私は福山市に真正面から意見を言うだけの【クチを持つとる！】今こそ私の出番じゃん♪

ここは地球じゃけーね野生動物と共存して当然なんよ！共存方法も考えもせず殺して解決！なうんて野蠻。福山市は大型捕獲檻を数年前から設置していたのに※※サルは賢いしまだ一頭も殺されてない。それを今さら記事にされ私みたいな殺処分反対！の意見が多く届いて困惑千万な感じなんですわ(笑)実際地元の新聞社もこのご時世によく考えもしないで命を粗末にする内容の記事を載せたなうと思ひますよ！この記事によってどんだけの善男善女が傷ついたか。まあそれが結果的には私の耳に届いたわけじゃから私的にはよかったけれど。サルに威嚇されたと訴える福山市の住民がおるそうじゃが誰も咬まれたわけでも引つ掻かれたわけでもないじゃろ？

農林水産課に問い合わせると※※以下福山市と表します。「捕獲したサルは殺処分します」と明言！農産物を食い荒らすから殺処分！そんなことは生き物を殺してよい理由にはなりません。しかも聞いて！新聞によると福山市の農産物被害は2023年度2件で被害額1万2千円▽24年度8件で被害額13万円▽25年度1件で被害額38万6千円『は？それだけ？』と思ひました。被害額なんか『桁違い？印刷ミス？』と自分の目を疑いました。福山市が言うには民間調査会社に委託して野生のサルの《一つの群れ》を調査したらしい。※※群れの「匹のメス猿にGPS付きの首輪をつけたそう。委託費は初年度が220万円、次年度が290万円、今年度はまだ報告が来てないから金額はわからないのさそう。その調査の結果その群れのサルの性別と頭数が判明したと言うのよ！6歳以上の

メス49頭▽6歳以上のオス13頭▽5歳のメス4頭▽5歳のオス3頭▽4歳のメス2頭▽4歳のオス3頭▽5歳か4歳のメス5頭▽5歳か4歳のオス3頭▽5歳か4歳の性別不明2頭▽3歳のメス1頭▽3歳の性別不明18頭▽2歳の性別不明26頭▽1歳の性別不明36頭▽0歳の性別不明24頭、計189頭の群れの頭数との報告。マジで200頭近い猿をまとめることができるボスが居るのなら私はそのボス猿の爪のアカをもらいたい！うちなんてオス猿はあきらめひろしのたった2匹しかおらんのに折り合いはつかずお互いが敵視したままです！《ほかのオスとは折り合はん》私はこれこそがオス猿の習性じゃと思うとります！この調査結果をともに信じる福山市ってバカなの？うちの人馴れしまくってるサルたちですら知らない人の《近寄り》や知らない人からの《じつと見》を死ぬほど嫌がって死ぬほ

ど怒るのにすごいよ！この調査会社、自然界の野生のサルを調べたよ！サル飼いの私ですらサルの顔を見ただけで何歳かなんて絶対にわからないのに：山を駆け回る野生のサルを一瞬見ただけでそのサルの年齢がわかるってこの調査会社は神？そこまで調査できる人なら私じゃーぜひ友だちになりたいもんじゃねきつとニホンザルの生態系の話で盛り上がるじゃろーよ！

繰り返しますが野生のニホンザルを一瞬見て6歳以上だとわかるって凄え！枝から枝へ飛び跳ねるサルの性別がわかるって凄え！私なんてひろしが室内で逃げたって動きが速すぎて一人じゃ捕まえられんし(笑)普通にひろしを《室内で見失う》もん(笑)なのにさもげな調査結果を出せるってホント《神か嘘つきか》さてどっち(笑)そしてニホンザルは新生児が亡くならない限りは2、3年空けてから次の出産をするんです！それを計算してもこの頭数は

いかにも怪しいじやろ？

そして私はまたまたオモロイモノを発見したよーッ！府中市のサル群れ調査について中国新聞社の7月15日の記事。記事によると福山市の隣市の府中市で広島県の超獣被害対策の専門組織《テゴス》の府中市担当者が群れの中のメス猿1頭にGPS付きの首輪をつけて《1年かけてサルを追跡調査》した結果をまとめた！そしたらなんと！ねぐらは空き家で120頭の大所帯だったそう！ものすごい発見じゃない？ニホンザルは食べ物求めて生涯飛び回る生き物でトイレトレーニングもできない不定住動物なのに府中市のニホンザルは普通に空き家をねぐらにして定住しているんだそう！府中市のニホンザルすごい進化してるじゃん！学会で発表してみたら？(笑)。

く生きていくしかないけど自然界で山の中でしょ？自由の身でしょ？なのに広島県のオス猿たちは縄張りも主張せずみんな仲良くできるのね！そして広島県のメス猿たちは強いオスより温和で皆と仲良くできるオスをこぞって選ぶんじゃない？

いやいや！私はなにもこの広島県の超獣被害対策の専門組織《テゴス》の報告が嘘っぱちだなんてこれっぽっちも言ってませんよ！だって【専門組織】ですからね、ただのサル飼いの私とはえらい違いじゃ！ただあまりに私の認識と違い過ぎて理解に苦しんだだけなんです！最後にもう一度、福山市のニホンザルによる農産物の被害。被害件数が直近3年間で12件、被害総額は52万8千円！私が福山市の職員なら調査会に年間220万円だ290万円だを委託費として支払うぐらいなら被害を被った農家に被害全額を補助金として渡すな！その方が安くつくじゃん。

♂も必ずTNR

発情期末去勢のオス猫は《絶対に》ケンカをします。だからオス猫も《絶対に》TNRの手術をすべき！ボランティアの中にはメス猫しか手術をしないと言う無責任な餌やりを説き伏せることもせず《言いなりに》なつて《いまだにオス猫の手術をしない人がいます》。それだとせつかくのTNRも不幸なオス猫を増やすことにほかならないしゆくゆくは生態系をも崩してしまいます！この負の連鎖を食い止めるために犬猫みなしご救援隊の出張TNR一斉ではメス猫しか連れて来ない人の参加は予約の段階でキツパリお断りしています！メス猫だけ手術して周りにオス猫の相手をするメス猫がいなくなったらオス猫はどうしますか？★メス猫を求めて遠くの町まで旅に出るか★手術を終えたメス猫を嫌がってもひたすら追いかけるか★未手術のオス猫

を求めて来る未手術のメス猫を待つか※※未手術同士は集まるんです。★弱いオス猫をメス猫の代わりにするか★弱いオス猫を追い回してケガを負わせるか交通事故死を招くか：良いことはひとつありません。これは《無責任な餌やり》の無責任な発想を容認する《無責任なボランティア》が悪いのです。ちなみに私の場合は全身全霊で説得しますし、それでも聞いてくれないならその現場からサツと手を引きます。聞き分けのない無責任な餌やりにこだわってなかなか進まない話をするくらいなら、聞き分けのよい良い餌やりさんのお手伝いをした方が時間も手もかからないので結果TNR頭数は伸びるのです。ボランティアをするならメス猫もオス猫も関係なく《そこの現場全員をTNRする》これ一択で宜しくお願い致します！

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。



広島本部
〒731-0234
広島市安佐北区可部町今井田690-2
TEL: 080-3522-3745

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金

▲ネットやスマホで当団体に募金できます